

大空衛

第80号
(新春号)



一般
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

〔目 次〕

巻頭言 新年のご挨拶 会長 古新 亮英…… 1	平成28年度 安全パトロール実施 ……………18
新年のご挨拶	官公庁との懇談会……………21
大阪府知事 松井 一郎 …………… 2	4団体協議会を開催……………22
国土交通省 近畿地方整備局 営繕部長 白川 和司…… 3	会員・賛助会員の交流会を開催 ……………24
新年交礼会開催…………… 4	青年部会 活動報告……………25
在阪建築15団体合同新年交礼会…………… 5	第43回野球大会を開催……………26
日空衛 第23回全国会議開催 …………… 6	大空会ゴルフ大会を開催……………31
平成28年度 安全衛生大会開催 …………… 8	ボウリング大会を開催……………32
第8回配管技能コンテスト開催 ……………11	告知板（賛助会員募集）……………33
配管技能コンテスト 審査講評 ……………13	ニュースフラッシュ……………34
配管技能コンテストに参加して （高校生3人） ……14	基礎知識研修会受講ガイド……………36
第54回技能五輪全国大会報告……………17	年賀ご挨拶(会員・賛助会員一同)……………38
	編集後記……………40

(表紙写真)

大阪ビジネスパーク (OBP)

年配の方には記憶に残っているかも知れない——高層ビルが林立し、近代的な装いの街OBPも1960年代半ばまでは戦争の傷跡も生々しい工場廃屋がそのまま放置され、無残な姿をさらしていたことを…。この地は明治以降、大坂鎮台（後の旧陸軍第4師団）の所管となり、軍の造兵廠として東洋一の規模といわれるまでになった。当然、太平洋戦争では爆撃の的となって壊滅し、残った施設は連合軍に接收された。解除された後も不発弾が多く危険という理由で長らく放置された。

戦後20余年を経てようやく、大阪市と大阪府内の大手企業などが経済、商業の一大拠点にしようと動きだし、高層ビルが建設されて近代的なビジネス街に生まれ変わった。約26haの地に著名な企業が拠点を構え、メディアやコンサートホールなどがあって情報・文化の発信地でもある。都市再開発の素晴らしさ、意義深さを示す典型的な街といえよう。



新年のご挨拶

会長 古新亮英

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平成29年の新春を健やかに迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、関西における空調設備業を取り巻く環境は、東京オリンピックに向けた建設需要に支えられた首都圏に比較すると差があるとはいえ、民間需要に支えられ堅調に推移していると思われます。そのような中、建設業界においては、若年労働者の減少、技能者の高齢化が顕著となり、担い手の確保、育成が喫緊の課題であります。

若年労働者の入職促進のためには、適正な賃金確保や労働環境の改善努力を推進させる必要があります。女性技術者の活用においては、昨年4月に施行された『女性活躍推進法』を追い風として積極的に推進させたいと考えています。また、当協会としては、設備工事業を担う人材育成の一環として、現役の配管工と学生・高校生が腕を競う『配管技能コンテスト』は今年で第9回目を迎えます。将来の技能工育成、人材確保が図られるよう、関係団体や工業学校とも連携しながら更に充実させてまいります。

われわれ空調衛生工事業従事者は、再生エネルギー導入や省エネ・省CO₂を推進して『低炭素社会づくり』を目に見える形で先導し、地球環境の保全に貢献することも求められています。長年培ってきた技術を更に磨き、社会に積極的に発信していくことが重要であります。

当協会として、様々な『広報活動』を通じて空調衛生工事業の誇りと魅力発信に努めてまいります。また、建設業の健全な発展のためには、公共工事の果たす役割が重要であります。行政に対して、『公共工事の拡大』、『適正な利潤が確保できる予定価格の設定』、『適正な工期での発注』を強く求めてまいります。

一方、4月より全面的に施行される『建築物省エネ法』や『社会保険未加入問題』の対策については、法令遵守を基本として、日空衛等の関係団体と連携し、積極的に取り組んでまいります。

最後になりましたが、今後とも協会活動を活性化させ、業界の更なる発展のため、会員・賛助会員のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄並びに皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

大阪府知事

松井 一郎

新年あけましておめでとうございます。皆様には、日頃から建設業の振興を通じ、住みよい大阪のまちづくりにご貢献をいただきますとともに、大阪府政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

府政においては「変革と挑戦」を基本姿勢に、これまでの成果を土台に、民間、市町村をはじめ関係機関と連携しつつ、具体的な取り組みを本格化する年にしたいと思います。

現在、大阪府では、2025年日本万国博覧会の誘致をめざし、国、経済界と一体となった取り組みを進めているところです。大阪・関西で万国博覧会が実現できるよう、オールジャパン体制のもと、全力で取り組んでまいります。

また、東西二極の一極となる大阪を実現するため、昨年末に策定した、「グランドデザイン・大阪都市圏」に基づき、鉄道・府県間道路等広域交通ネットワークの整備や、定住魅力あふれる都市空間の創造に向け、大阪の顔となる「うめきた2期」の全面みどり化などに取り組みます。

安全・安心の取り組みについては、大規模地震などの災害から府民の命を守り、被害を軽減するため、住宅・建築物の耐震化や密集市街地の整備などについても、引き続き進めてまいります。

さらに今後、空家の増加が見込まれる中「大阪

版・空家バンク」の設置や、空家の利活用を核としたまちづくりなど戦略的かつ集中的に空家対策に取り組みます。

建設業においては、現場の就労者の高齢化や若年入職者の減少といった問題が生じており、建設業を支える人材の確保が課題となっております。このような状況のもと、貴協会におかれましては、配管技能コンテストの実施による、熟練技能工の育成など、優れた技能労働者の確保と社会的地位の向上のために、たゆまぬご努力を重ねておられます。

大阪府においても、引き続き、貴協会をはじめとした建設事業者の団体と連携し、保険未加入業者の排除などの技能労働者の処遇向上を図り、建設業界の健全化に向けた取り組みを推進してまいります。

今後とも、これらの取り組みの推進並びに大阪の建設業、大阪・関西経済のけん引役としてご活躍いただきますとともに、大阪府政の推進に、なお一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の今後ますますのご発展と、本年が皆様にとって実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈りします。



新年のご挨拶

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 白川和司

明けましておめでとうございます。一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会並びに会員の皆様方には、清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より、国土交通行政の推進及び官庁営繕事業の執行にあたり、深いご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、今年、来年度に向けての官庁営繕事業にあたりましては、「防災・減災」、「長寿命化・老朽化対策」を主たる柱としております。「防災・減災」については、南海トラフ巨大地震に備えた官庁施設の地震・津波対策を推進するため、建物の構造体の耐震性、津波想定地域での対浪性の確保、天井・外壁・建具などの建築非構造部材の落下・破損防止、建築設備機器類の転倒・破損防止、電力・通信・給排水の機能確保等、建物全体としての総合的な耐震安全性の確保を進めて参ります。特に、発災時に防災拠点としての活動を支える庁舎の整備は重要であり、現在、災害対応官署が入居する大阪第6合同庁舎の整備をPFI手法にて実施する検討を行っているところです。

「長寿命化・老朽化対策」は、これまでよりも長く建物を使用することにより、トータルコストを縮減しようというものです。これまでの官庁施設は、行政需要や効率化のための統廃合などによる狭隘化、冷暖房設備の標準化など執務環境の変化に伴う躯体の陳腐化、社会の変化に伴う建物によるサービス水準の変化などから、新築整備を中心に問題解決を図ってきた中で、概ね40年程度の建物使用で寿命を終えていました。これまでの整備により、合同庁舎化、耐震化の進展、設備水準の向上、改修技術の向上による既存施設の使用状態変更への対応が行いやすくなったことなどから、一定のエリアの中にある一定の水準を有する官庁施設は、ファシリティマネジメントとして出来るだけ長期に活用していくというものであります。具体的な整備内容としては、自然環境の中に曝されることによる劣化に対抗するための整備や、設備機器などの建物の機能保持に必要なものの改修を

行っています。また、点検等の保全行為を通じて、建物の状態を適切にモニターし、支障なく建物を使用できる状態を確保することや、長寿命化に障害となる事項の早期発見や対応、個別施設計画の策定などについて、官庁施設情報管理システム（BIMMS-N）のデータや機能を活用するなどして、各施設管理者に指導しているところです。

また、いわゆる担い手3法の改正を受けた、現在及び将来の公共工事の品質確保、その担い手の中長期的な育成・確保を図るため、実績要件の緩和、営繕積算方式の普及、入札時積算数量書活用方式の試行、余裕期間制度の活用などを行っているところです。昨年12月20日には、建設企業への財務実態調査結果等を踏まえ、公共建築工事積算基準の改定を行って一般管理費等率及び下請企業の経費率を見直しており、本年1月1日以降に入札公告を行う営繕工事から適用しております。

社会資本整備審議会の官公庁施設部会においても、官公庁施設整備における発注者の在り方について諮問し、発注者の役割等について議論していただきました。そうした議論の内容を踏まえ、官庁施設整備事業における的確な発注者としての役割が果たせるよう努めて参りますとともに、地方公共団体等の発注者に対しても支援していきたいと考えております。こうした取り組みは、貴協会並びに会員の皆様方のご理解、ご支援により、一層実効性が増すものと考えます。引き続き、ご理解、ご支援を頂きますようお願い致します。

最後になりますが、多様に変化する社会情勢において、建築設備の担い手である皆様方のこれまでのご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後とも業界がより一層発展されることを期待し、また、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成29年新年交礼会

賑やかに「酉年」の門出を祝う



年頭の挨拶を述べる古新会長

平成29年新年交礼会は、1月11日午後6時から大阪・難波のスイスホテル南海大阪で関係官庁・団体、近畿各府県空衛協会からの多くのご来賓をお迎えし、総勢約360名が参集して開催しました。

古新亮英会長は年頭挨拶で、「関西地区の空調設備業を取り巻く環境は首都圏に比較すると差があるとはいえ、民間需要に支えられて堅調に推移していると思われる」とした上で、「若年労働者の減少、技能者の高齢化が顕著となり、担い手の確保、育成が喫緊の課題である。若者の入職促進のためには、適正な賃金確保や労働環境の改善努力を推進させる必要があるほか、女性技術者の活用においても昨年4月に施行された『女性活躍推進法』を追い風として積極的に推進させたい」と述べました。さらに、古新会長は、設備工事業を担う人材育成の一環として実施している『配管技



来賓挨拶を述べる白川様(左)と岸本様(右)

能コンテスト』について、「今年で第9回目を迎えるが、将来の技能工育成、人材確保が図られるよう関係団体や工業学校とも連携しながらさらに充実させていく」と述べました。最後に「われわれ空調衛生工事業従事者は、再生エネルギー導入や省エネ・省CO₂を推進して『低炭素社会づくり』を目に見える形で先導し、地球環境の保全に貢献することも求められており、長年培ってきた技術を磨き、社会に積極的に発信していく」と述べました。

ご来賓の国土交通省近畿地方整備局営繕部長・白川和司様は、祝辞の中で官庁施設の防災・減災、超寿命化に取り組んでいることを紹介し、「様々な取り組みは建築設備を担う皆様のご支援で実効性が一層増す」と期待しました。また、大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課長・岸本博之様



「酉年」の門出を祝って乾杯

は「大阪府はエスコ事業の拡充を図っており、この推進を含め、省エネ対策、低炭素社会実現に協力してほしい」と激励を込めて祝辞を述べました。

城口俊雄副会長の「カンカン乾杯」の発声で杯を上げたあと、賑やかに交歓し、白木博之副会長の音頭で一丁締めを行い、交礼会を終えました。



白木副会長の音頭で一丁締め

在阪建築15団体合同新年交礼会

在阪建築15団体合同の新年交礼会が1月4日、大阪市天王寺区のシェラトン都ホテルで開催され、約620名が参集して賑やかに交流しました。

今年は当協会が開催担当として開いたもので、年頭挨拶に立った古新会長は「関西における建設投資は民間需要に支えられ堅調に推移している。そうした中、建設業界では人材の確保・育成、社会保険加入促進などが大きな課題となっており、今後、取り組みを強化していく。また、関西では2025年の国際博覧会開催をめざしており、実現すれば関西復権の足掛かりになると期待している。今年も15団体の連携を密にし、活発な活動を行っていききたい」と述べました。

国土交通省近畿地方整備局の池田豊人局長など



挨拶する当協会の古新会長

が来賓祝辞を述べたあと、昨年、叙勲・褒章を受章した会員を顕彰しました。次回交礼会開催担当の大阪府設備設計事務所協会・加地正和会長の発声で乾杯したあと、賑やかな交歓が繰り広げられ、新年の門出を祝いました。



賑やかな交歓が繰り広げられた

日空衛 第23回全国会議

近畿ブロックの担当で開催 神戸に全国から約350人参集



円内は挨拶する野村会長

日本空調衛生工事業協会（日空衛、会長野村春紀氏）の第23回全国会議が平成28年10月20日に日空衛近畿支部（支部長・古新亮英氏）の開催担当により神戸市で開催され、「震災から学ぶ公共事業のあり方」や「女性の活躍」などを模索するとともに、業界の積年の課題である「空調衛生工事業の独自性の確立」へ向けて力を結集していくことを再確認した。

会議には全国都道府県の空調衛生工事業団体から役員を中心に350人余がホテルオークラ神戸に参集。野村会長は冒頭挨拶で、熊本地震と東北・北海道での大規模水害へのお見舞いの言葉を述べるとともに、「復旧・復興に尽力された各協会、会員企業に感謝申し上げる」と述べた。さらに、野村会長は、空調衛生設備工事業界の業況は一時の低迷から脱したとしながらも「人材の確保・育成、地震や水害への対応を含めた安全で安心できる生活・産業基盤の設備提供という2つの課題はいぜん残されている」とし、「魅力があり、誇り

の持てる産業であることを地道に訴えて人材の確保に取り組み、災害時に機能が失われない設備提供に注力しよう」と呼びかけた。

来賓からは国土交通省近畿地方整備局の池田豊人局長が挨拶に立ち、「女性を含めた若年労働力の確保を図り、省エネ・低炭素社会実現に協力していただきたい」と要望した。また、同省土地・建設産業局の木村実・建設市場整備課長は「建設業従事者の社会保険加入促進に協力をお願いするとともに、時間外労働の縮減、ワークライフバランスへの取り組みなど働き方改革を推進してほしい」と要望した。

次いで、関西学院大学大学院の経営戦略研究科・佐竹隆幸教授が「公共事業と地域経済～震災から学ぶこれからの公共事業のあり方～」と題して基調講演を行った。佐竹氏は、阪神・淡路大震災での書店、東日本大震災での建設会社の2つの事業継続計画（BCP）の事例を紹介し、さらに両震災時のインフラ関連状況を比較分析するとともに



佐竹教授による基調講演

に、「未曾有の大災害でも自立・自主・民主の精神で復旧・復興を進めてきたが、多くの課題が存在するのも事実で、創造的持続可能性を有するにはまだまだ着実な戦略が求められる」と述べ、震災復旧・復興過程で表面化した課題を挙げた。

また、佐竹氏は日本の経営について、株式会社であっても所有と経営の未分離など様々な点で矛盾を抱えているとしながらも「日本の経営は社員満足度を高める側面がある」と指摘。「社員のモチベーションを高めることによって顧客が最高の価値であると認める製品・サービスを提供する『顧客の価値創造』に取り組み、E S (社員満足)、C S



設備女子会が活動をアピール

(顧客満足)、C S R (企業の社会的責任) を実践することが重要である」と述べた。

引き続き、設備女子会幹事の宮坂裕美子氏（日建設計・設備設計部）が同会の取り組みと今後の抱負などについて講演した。この中で宮坂氏は、同会が平成24年11月18日の「建築設備士の日」に発足し、会員は467名（28年7月時点）で、各地域で交流事業を行っていることを説明した。また、女性設備技術者の情報交換・発信の場として女性設備技術者の地位向上を図っていることを紹介する一方、労働時間の制約などで仕事と家庭の両立に悩んでいる現状を明らかにした。さらに、「女性ならではのしなやかな感性、女性が本来持っている高いポテンシャル」もアピールした

このあと、三機工業関西支社の射場文隆・設計1部部長による「あべのハルカスの設備」と題した事例発表が行われた。射場氏は、熱源装置設置に関して、超高層・大規模ビルならではの独特の建築構造から建築設計側との認識の相違などで困難な状況に直面し、工夫してそれを克服した経験などを話した。また、この中では、女性の技術者が活躍したことなども紹介した。

会議のあと小憩し、盛大に懇親会が開かれ、情報交換・意見交換が繰り広げられた。



「あべのハルカスの設備」事例発表

安全衛生大会を開催



平成28年度安全衛生大会を昨年10月4日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催し、優良工事現場を表彰するとともに、安全衛生・労働衛生を誓い合いました。

大会は、関係官庁や友好団体から多数のご来賓をお招きし、合わせて約160名が出席。最初に、業界でこの1年間に不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげてご冥福をお祈りしました。

大会で冒頭挨拶に立った古新亮英会長は「平成27年の建設業における労働災害の発生状況を見ると、死傷者は前年度比9.3%減少したが、いぜんとして1万5000人を越える高い数字となっている。中でも、建設業の死亡災害はその原因の約6割が墜落・転落災害によるものであり、27年7月に足場等に関する改正労働安全衛生規則が施行された。これにより、事業者が特別教育を必要とされる業務に足場の組立、解体または変更の作業が追加された」と昨今の状況を説明し、「労働災



「安全対策の重要性」を訴える長谷川様

害を防止するためには経営トップから現場管理者・労働者の一人ひとりが『安全基準』や『作業手順』の基本ルールを守ることが重要であり、一過性の指導に終わらず、粘り強く繰り返し教育の周知徹底を図り、労働者の安全を確保し、労働災害ゼロをめざしてほしい」と述べるとともに、安全衛生及び品質に優れた事業所として栄えある表



安全衛生優良事業所として22社を表彰

彰を受けられる会員に敬意を表しました。

続いて、大阪中央労働基準監督署の安全衛生課長・長谷川雅一様から来賓挨拶をいただきました。長谷川様は、大阪労働局と各労働基準監督署が共同で展開している災害防止活動『命綱G O（いのちつなごう）大切な命』の取り組みを紹介するとともに、「皆様方のおかげで近年、労働災害事故による死亡者数は減少傾向にあるものの、いぜん高所からの転落・墜落による死亡事故は多い。2～3メートルの高さからの転落でも重大な

事故につながる」と述べ、安全帯の点検・着用確認・使用確認などを確実に実行するよう要請しました。

このあと、安全衛生優良工事の表彰式に移り、辻高司・労務専門委員が表彰条件、選考過程と結果を発表し、優良事業所22社を表彰しました。被表彰者代表が古新会長から表彰状を受け取り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。引き続き、参加者全員で労働安全スローガン『見えますか？ あなたのまわりの見えない危険



全員でスローガンを斉唱し安全衛生を誓う

みんなで見つける安全管理』と労働衛生スローガン『健康職場 つくる まもるは みんなが主役』を斉唱して作業の安全を誓い、大会第1部を終了しました。

小休のあと、第2部として、新聞、テレビで活躍中の著名ジャーナリスト橋本五郎様を招き、特別講演会を開きました。政治に通じている橋本様は「どうなる日本の政治」と題して講演。歴代政権の舞台裏などを紹介し、現安倍政権については

「物事を決められる政治が高く評価されている」とし、「過疎地対策や高齢化対策へ一層力を注いでほしい。政治に最も大切なものは『心』である」と述べました。

最後に、若林尚史労務委員長が「労働災害の絶滅はわれわれの最大の責務であるとともに、安全対策、労災防止のノウハウをしっかりと次世代に伝えていくことも重要である」と述べ、大会の幕を閉じました。



「日本の政治」をテーマに講演する橋本様



閉会の辞を述べる若林労務委員長

表彰会社名 (22社)

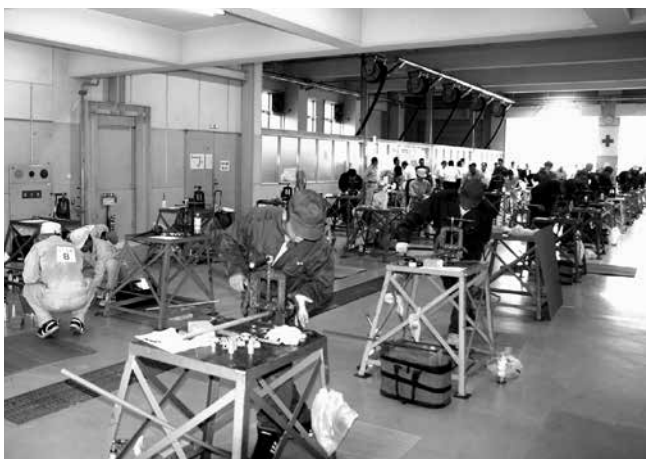
(株)朝日工業社大阪支社	浦安工業(株)大阪支店	鳳工業(株)
木村工業(株)	(株)共進社工業所	斎久工業(株)大阪支社
敷島煖房工業(株)	主計管工(株)	新日本空調(株)大阪支店
(株)精研	ダイクウ(株)	ダイダン(株)大阪本社
日本メックス(株)関西支店	日比谷総合設備(株)関西支店	(株)不二設備工業所
不二熱学工業(株)	(株)前田商会	(株)マサキ設備
丸住(株)	美和設備工業(株)	柳生設備(株)
若林設備工業(株)		

第8回配管技能コンテスト開催

技能者、学生・生徒計 40 人が腕を競う

学生の部 女生徒・中川さん優勝

一般の部 吉田真二氏が制す



当協会主催の第8回配管技能コンテストが8月20日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校（テクノセンター東大阪）で開催され、一般技能者、専門学校生・高校生合わせて40人が腕を競いました。

コンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、当協会が実施しているものです。協会のコンテスト実行委員会が運営に当たったほか、布施工科高校な

どの多くの先生が審査委員・審査補佐委員としてバックアップしていただきました。

開会式で挨拶に立った白木博之副会長（技術・労務担当）は、建設業界での人手不足・工期遅れが問題となっていることに触れ、「コンテストはこうした課題に対応するため、熟練技能工の育成、後継者の育成を目的にしてきた。8回連続して出場し結果を残した参加者もいて、技術向上への意欲が感じられる。素晴らしい作品ができ上がるこ



学生の部優勝・中川さん（左）



一般の部優勝・吉田氏（左）



水圧テスト(左)/サイズ審査(右)のもよう



学生の部上位入賞者(前列)



一般の部上位入賞者(前列)

上位入賞者は次の通りです (敬称略)

【学生の部】

- 優勝 中川 七緒 (彦根工業高校 3年)
- 準優勝 鈴木 彬允 (東住吉総合高校 3年)
- 第3位 吉川 楓 (彦根工業高校 3年)
- 第4位 森 皆登 (布施工科高校 3年)
- 第5位 富永 龍佑 (布施工科高校 3年)

【一般の部】

- 優勝 吉田 真二 (㈱アルファー)
- 準優勝 米田 浩淑 (㈱中道設備工業)
- 第3位 小北 元樹 (板東設備工業㈱)
- 第4位 藤田 薫 (㈱藤尾設備工業所)
- 第5位 別府 智樹 (将口設備㈱)

とを期待する」と激励するとともに、関係者の運営協力にお礼を述べました。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者22人(一般の部)、建築設備関連の学科を履修中の大阪工業技術専門学校、布施工科高校、東住吉総合高校、彦根工業高校の学生・生徒18人(学生の部)の合わせて40人が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベルの課題作品、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦しました。

作品はサイズ誤差、出来栄え、水圧試験による漏れ検査などで審査され、学生の部では彦根工業高校の女生徒・中川七緒さん(3年生)が見事優勝しました。準優勝は東住吉総合高校の鈴木彬允君(3年生)が獲得し、3位は彦根工業高校の女生徒・吉川楓さん(3年生)が入賞しました。一般の部では吉田真二氏(㈱アルファー)が優勝、準優勝は米田浩淑氏(㈱中道設備工業)、3位は小北元樹氏(板東設備工業㈱)が入賞しました。

表彰式では1～5位の入賞者に賞状やカップ、記念品が贈られ、学生の部優勝者には大阪府知事賞が、一般の部優勝者には大阪府職業能率開発協会会長賞がそれぞれ授与されました。

表彰式の審査講評で小倉一浩審査委員長(布施工科高校教諭)は学生の部、一般の部とも「上位は減点ゼロが並ぶ接戦で、きわめてハイレベルの大会となった」と講評しました。学生の部の表彰式で布施工科高校の植田篤司校長は競技者をねぎらうとともに、「配管職はインフラを支える重要な職種。人工知能やロボットにとって代わられる業務ではなく、皆さんの努力と感性が活かせる仕事である」と激励しました。

当協会の中尾弘昭・技能コンテスト実行委員長は表彰式で関係者にお礼の言葉を述べるとともに、引き続き技能の向上に取り組んでいく決意を示しました。

コンテスト審査講評

小倉 一浩 審査委員長
(布施工科高校建築設備系)

一般の部

第8回配管技能コンテストが開催され、審査委員長を仰せつかり、無事終了しましたことを大空衛の役員の方々、設営・買出し・駐車場係など多方面でご尽力いただいた青年部の皆様、またご関係の皆様にお礼申し上げます。

今回も上位入賞の方々は、優れた1級技能士であることを明らかにする方々でした。1級技能検定実技試験では見ることのできない、ハイレベルの作品が多く、減点数がとても少ない方が多数でした。特に作品が完成した方21名（前回25名）の中で水圧試験をする前には、11名（同13名）基準点が一桁でした（以前は3名しかいなかったこともありました）。配管技能コンテストが定着している印象が一層高まる指標となった気がします。

優勝者の減点数は3点（前回2点）で、寸法精度Ⅱは22mm（同31mm）でした。基準点が一桁の方の中では1名（同4名）が水圧試験で漏れがあったことは、大変残念でありましたが、ここでも綺麗で、正確な作品を仕上げる方は水漏れもほぼないと技能向上が見られました。ただし、その方の基準点が減点0（ゼロ）であったので、失格されたことは誠に残念でした。

今年も僅差判定で順位が決定しました。毎年ですが、学生たちが同時進行で行うコンテストで、自分の作業の終了した学生たちが一般の部で腕を振るう皆様方の息吹を感じたことは、学生たちに大変貴重な経験となりました。



審査講評を発表する小倉審査委員長

学生の部

今回は「水漏れ失格」が5名でした。ここ3年間では最も多く、寸法誤差が少なくなり、各校とも練習の環境が整い、基本寸法の減点差が少なく、出来栄への差が順位となる傾向があり、その結果、銅管接合の綺麗さを求めるあまり、ろう不足が今年の水漏れの原因かもしれません。今年は欠席者が2名で、学生参加者が競い、13位まで順位がつきました。

学生には、大空衛、滋空衛の両協会からのご支援があり、今回も練習回数により作品の優劣がついたように思われます。技能検定でも同様の基準となる、寸法精度Ⅰが0点の生徒が8名（前回11名）。出来栄への減点もなかった3名（同4名）で、今年も順位は激戦の末、決定しました。

2位と3位も順位基準Ⅱの優劣で順位が決定しました。3級技能検定にない銅管についても、各学校での練習の成果が見られ、ろう付けの垂れる程度も少ない生徒が多く、見栄えも綺麗であり、出来栄へのわずかな差につながりました。

技能検定では実技点95以上に相当する作品が多く、4名の水漏れ失格になった者も寸法的な仕上げはとてもレベルの高いものでありました。塩ビバルソケが「なめる」生徒も少なく、綺麗な



開会式で(左)で挨拶する白木副会長(中)と中尾実行委員長(右)

作品が多かった。時間内に完成することができたことは素晴らしい結果でありました。

高校生枠を確保してくださった大会主催者の方々に心よりお礼申し上げます。高校生には、各協会さまより指導者を派遣頂き、事前練習会を持ち、その結果、鋼管のねじ接合において700mm丁度の生徒が非常に多く、699mmから701mm

の間での運も味方にする生徒が多くいました。

学生たちは練習と大会で実力を発揮する難しさを学んだと思います。この経験を生かし、建築設備業界で技術者・技能者として、世の中の役に立つ人に成長することを願っております。

大会運営に携わって頂いた皆様に『ありがとうございました』。

配管技能コンテストに参加して



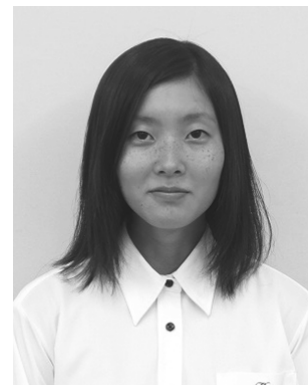
☆☆☆ 優 勝 ☆☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校 中川 七緒

私は、配管コンテストに参加して2つのことを学びました。1つ目は身の回りの整理整頓です。スムーズに作業をするためには、作業の合間に何回も掃除をすることが一番大切だと感じました。

2つ目はあきらめないことの大切さです。初めの頃は、道具の使い方も分からず、寸法も全く合わない状態でした。だけど、あきらめずに何回も何回も練習して、配管コンテストで良い結果を残すことができました。

また、私は高校卒業後、大学に進学しようと考えています。このことを生かし、難しいことにも



挑戦し、あきらめずに最後までやり遂げたいです。

そして、参加するまでに学校の先生や講師の先生、協会の方々にとってもお世話になりました。道具の使い方やハンダのやり方など細かいところまでしっかり教えていただいたおかげで優勝することができました。

本当にありがとうございました。

配管技能コンテストに参加して

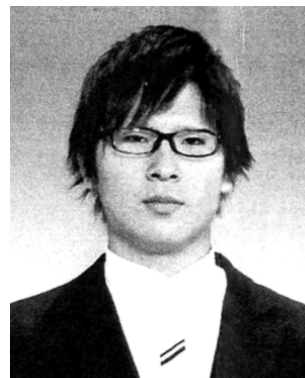
☆☆☆ 準優勝 ☆☆☆

大阪府立東住吉総合高等学校 鈴木 彬允

私は、東住吉総合高校に入学し、系列の選択を住環境系列としました。2年生になって配管の実習を受けて、配管の楽しさと魅力、そしてその奥深さを知ることができました。

2年生最後のとき、3級配管技能士の資格を取得することができ、少し自信のようなものが生まれ始めました。今回、配管技能コンテストがあると聞き、ぜひ参加したいと思いました。先生から今回のコンテストに参加できると伺い、「絶対に最後まであきらめないでがんばろう!」、「悔いのないように練習しよう!」と考えました。

いよいよ夏休みに入り、練習が始まりました。大変暑い中、連日にわたって練習をしました。クラブ活動との両立で大変でしたが、大野先生の励



ましもあり、最後まで納得のいく練習をすることができました。また、練習する材料を協会から提供していただき、本当にありがたく思っています。

コンテスト当日は、会場に入ったとたん緊張してしまい、何をしていたのか覚えていないぐらいでした。開会式の直前に周りの一緒に練習した仲間や、住環境系列の先生方に声をかけられ、少し落ち着くことができました。

いざ作業が始まると、先ほどまでの緊張が嘘のようになりました。その結果、夏休み中の練



真剣な表情で課題作品作りに取り組む「学生の部」選手



表彰式

習より早く仕上げることができ、自分自身、驚いたことを覚えています。

表彰式では、自分自身の名前が呼ばれるなんてまったく思っていませんでした。準優勝として名前が呼ばれたときは、驚きとともに嬉しさがこみ上げてきました。夏休み中の練習を最後までやってよかったと思いました。

最後に、今回のコンテストと一緒に練習した仲

間や、実習室で暑い中指導してくださった先生方、このような場所や材料を提供していただいた協会の方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。ほんとうにありがとうございました。

私は、太平洋総業サービス株式会社に就職が決定しており、配管関係の職種ではありませんが、今回のコンテストの経験を活かして、社会人となってもがんばって行きたいと思います。

配管技能コンテストに参加して



☆☆☆ 第3位 ☆☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校 吉川 楓

最初は友達と一緒に参加できたらいいなと思い、女子2人で参加することにしました。初めはなかなかできなくて、ネジ切りやハンダ作業や塩ビ管の寸法取りなど上手くできませんでした。

夏休み中に何回も練習を重ねていくうちに徐々に上手になっていきました。練習していく中で、多くのことを学びました。まずは、わからないことはすぐにしっかり聞くということです。2つ目は、掃除や整理整頓の大切さです。なぜなら、作業する所は狭いからです。そこで、効率よく作業をするためには、掃除をしながら使った道具や部



材を整理整頓することを学びました。

進学してもわからないことはすぐに聞き、何事にも挑戦していきたいです。今回の大会では多くの方々にお世話になりました。夏休み中に指導していただいた先生や講師の先生、大会でお世話になった方々、本当にありがとうございました。

平成28年度 第54回技能五輪全国大会（山形県寒河江市 チェリーナさがえ）

4年連続 大阪府選手団に配管職種で出場！

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系 小倉 一浩

1. はじめに

日頃よりお世話になっています、今回も報告させていただく機会を頂き、改めてお礼申し上げたいと思います。

大阪府五輪予選を通過した本校生が第54回技能五輪全国大会に大阪府の代表として競技してまいりました。



山形で配管作業中の富永君

2. 全国大会に参加して

10月20日（木）に開催地である山形県に入り、21日（金）は午前中、寒河江市（チェリーナさがえ）に向かいました。寒河江市は山形県の中でも”さくらんぼ”の名産地で体育館（アリーナ）にも命名されていました。

午後から、山形県総合運動公園内のメインアリーナで全体の開会式がありました。

22日（土）の競技当日は早朝より会場に入り、開始の合図を迎えました。

準備の日に確認したので、初めて見た二段のフロアバンドについても、排水管と通気管を指示位置につけることを理解し、順調であった。昼前に過去は5000mm用意されていた、銅管が4000mmであったことに注意をしていたが、練習通り製作してしまい、GV（ゲートバルブ）の取り付け位置が、基準から離れてしまった。昼食を取り、気持ちを引き締めて臨み、給水、

給湯、排水、通気とそれぞれの管を接合していきました。

また、20A、15A銅管の曲げ加工は、練習の成果が出て、本校生徒としては、過去最高の出来となりました。公開水圧試験も「水漏れなし」の評価を受け。作業が終了しました。本大会を体験できたことで、練習で発揮できていた自分の力を出すことが如何に大変かを知ることができたようでした。

高校生が出場する、難しさは並大抵でなく、2年生の時に技能検定2級を受けると同時に、『国競』として技能五輪大阪府予選にも参加することから始まります。4年連続出場は高校では、今大会では最多となりました。大阪空気調和衛生工業協会には、生徒が練習する材料費の支援を賜り誠に感謝しております。



他校生検討を講えあう(左が富永君)

3. 富永君の感想

野球部の大会が終了（7月下旬）すると、技能五輪の配管練習を本格的に始めました。練習でも、銅管曲げはしっかり教えて頂いたので、かなり自信がありました。しかし、他選手の作品は自分の作品よりも綺麗でした。

それでも自分で力の限り頑張り、水漏れなしの作品ができたことがとても嬉しかったです。良い経験ができ、後輩に伝えていきたいです。貴会の皆様や技術指導して頂いた多くの方のお陰で、作時間内に作品を仕上げることができました。ありがとうございました。

平成28年度 安全パトロールを実施

新日本空調(株)大阪支店 新原 辰美

京都大学（南部）i P S細胞研究所 第3研究棟新営 空調・衛生設備工事作業所を巡回

平成28年10月26日（水）、一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会は、平成28年度安全パトロールを下記のメンバーで実施しました。

安全パトロールは、当協会安全労務委員会行事の一環として工事現場の安全指導と、安全労務専門委員の総合安全研修を兼ねて行っています。

安全パトロールで巡回した現場は、京都大学（南部）iPS細胞研究所であり、本物件は第3研究棟となります。ノーベル賞受賞者・山中伸弥教授を所長とするiPS細胞の研究施設です。



巡回メンバー（敬称略）

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

◇協会事務局

林 寿二（専務理事）

◇安全労務委員

稲岡 栄治（三機工業(株)）

宮地 直人（(株)朝日工業社）

石田 容章（須賀工業(株)）

辻 高司（日比谷総合設備(株)）

新原 辰美（新日本空調(株)）

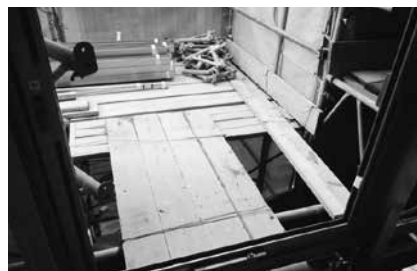


南側からの現場風景



巡回メンバー

3階の外部仮設足場との渡りが足場板が欠損していたので、足場板を全面に敷き詰めて結束するように、建築に依頼するよう指示しました。



シャフトのダクト床貫通部及び電気ケーブル床貫通部の穴埋め及び表示を確実に実施しており、非常に良好でした。



機器揚重用アッパーのポンペに空充表示が貼っていなかったため、空充シールを貼るよう指示致しました。



ガス溶接用ポンペの空充表示は、工夫してされており、良好でした。



B2階機械室内床スリーブの開口養生が出来ていなかったため、開口養生を取付けるように指示しました。



B2階機械室内のマンホールが建築業者作業中であり、開けっ放しであったため、明確な標示をしてもらうよう建築に依頼するように指示しました。



産業廃棄物は、分別を行い管理がしっかり出来ており、良好でした。



現場内の休憩所は、清掃されて綺麗に使用していました。

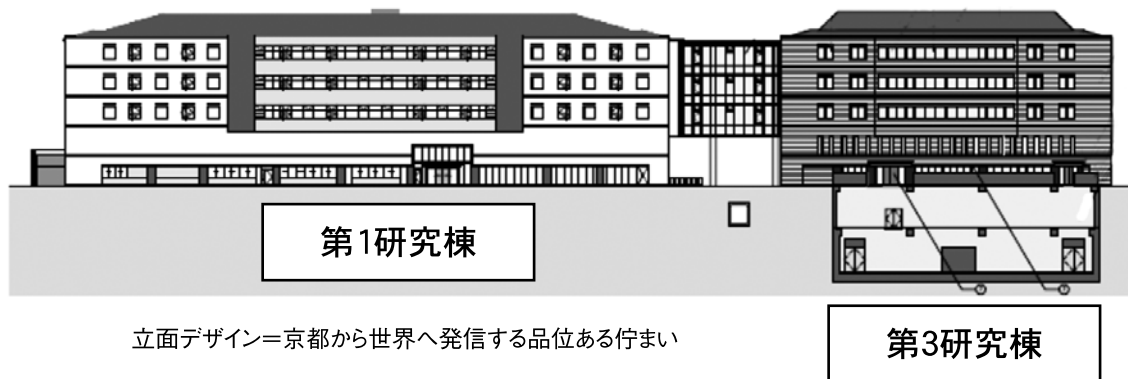


平成29年3月の竣工に向けて、無事故・無災害で工事が完工されることを願ひましてパトロールを終えました。

今回の安全研修として、適切な模範となる作業所を巡回でき、メンバー全員が納得し知識向上に役立った安全パトロールでした。

巡回した作業所の工事概要

- 工事名称 京都大学（南部）iPS細胞研究所棟第3研究棟 新築工事
- 工期 平成26年10月30日～平成29年3月24日
- 工事場所 京都市左京区聖護院川原町53 京都大学病院西構内
- 建物概要 工種＝新築 建物用途＝研究施設 構造＝鉄筋コンクリート造
階数＝高さ・地上5階 地下2階 22.22m
建築面積＝1,233.4m² 延床面積＝7,680.46m²
- 発注者 京都大学施設部
- 設計 株式会社新日本設備計画
- 請負者 建築工事 株式会社松村組
空調・衛生工事 新日本空調株式会社
電気工事 住友電設株式会社



- 空調設備工事概要
 - 1) 熱源設備 空冷ヒートポンプチラー 直炊き吸収式冷温水機
 - 2) 空調設備 外気処理ユニット ビルマルチパッケージエアコン
 - 3) 換気設備 給排気ファン
- 衛生設備工事概要
 - 1) 給水設備 受水槽500L 加圧給水ポンプにて供給
 - 2) 給湯設備 ガス給湯器による給湯方式 個別電気温水器設置
 - 3) 排水設備 汚水・雑排水・実験排水の分流方式
 - 4) 都市ガス設備 実験装置と給湯器に供給
 - 5) 特殊ガス設備 酸素ガス、炭酸ガス、窒素ガスを実験にて使用
 - 6) 消火設備 屋内消火栓設備 スプリンクラー設備 ハロゲン化物消火設備 消火器
 - 7) 濾過装置 井水を処理して冷却水、雑用水として利用

官公庁との懇談会開催報告

国土交通省近畿地方整備局営繕部 懇談会

(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部経営委員会は、昨年12月8日に大阪市中央区のシティプラザ大阪で、国土交通省近畿地方整備局営繕部などとの懇談会を開催した。

第13回の今回は、社会保険未加入対策、適正な予定価格設定、適正な設計変更、公共工事発注の平準化などについて意見交換が行われた。

社会保険未加入対策については、国交省より、公共工事の品質確保に関する法律の改正ポイントなどのほか、適正な予定価格の設定に向けての取り組みなどが説明された。



出席者(敬称略)

国土交通省近畿地方整備局営繕部 営繕品質管理官 宮内 徹

設備技術対策官 村山 雄介 整備課課長補佐 森田 良次

国土交通省近畿地方整備局京都営繕事務所 所長 山北 孝治

日本空調衛生工事業協会近畿支部 経営委員会

大阪府＝塩谷眞富、安原和利、星野宏一

滋賀県＝大崎裕士 京都府＝石倉 宏、北野邦彦 和歌山県＝東 守

奈良県＝森村彰博、壹岐隼人 兵庫県＝山口敬三、牟禮正稔

〈事務局〉林寿二、大金智子

大阪府住宅まちづくり部 公共建築室設備課 懇談会

(一社)大阪空気調和衛生工業協会は、昨年11月7日にシティプラザ大阪で大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課との懇談会を開催した。懇談会では「予定配置技術者(監理技術者)の従事状況に関する確認時点」「社会保険未加入者の扱い」、「登録基幹技能者配置に対する評価」についての質疑応答が行われた。



また、「ビル省エネ度判定制度」の活用状況や「特定建設業許可の入札参加要件の変更」などについて大阪府より説明が行われた。

出席者(敬称略)

大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課 副理事 田邊陽一、

課長 岸本博文、課長補佐 矢倉政雄、課長補佐 中田 仁

大阪空気調和衛生工業協会

近藤 徹、塩谷眞富、安原和利、星野宏一、木村之彦、中尾弘昭、若林尚史

〈事務局〉林 寿二、井上彩子

4 団体協議会開催

「社保問題」「人材確保」で意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会で構成する4団体協議会の第22回会合が7月25日に、第23回会合が11月21日に当協会事務局のある新トヤマビル3階の会議室で開かれ、主要議題として建設業界の「社会保険未加入問題」、「現場の諸課題」、「人材・女性技能者の確保・育成」などで意見・情報を交換しました。

22回会合には11名が出席。保険未加入問題については、『建設国保』に関連して、「社会保険未加入対策として元請や上位企業から建設国保から協会けんぽに移行させようとする動きがあるが、国土交通省通知（「建設業に係る協会けんぽへの加入と国民健康保険組合への加入」）では、協会けんぽに加入しなくても建設国保と厚生年金のセットで社会保険に加入することは適法とされているということを知った」などが報告されました。また、「国交省は、平成29年度で未加入をなくすといっているが、そのためには下請けがつぶれないような方策を打ち出してもらいたい」などの意見が出されました。

現場における諸課題については、「東日本や首

都圏では職人不足はないといわれている（職人が集中しているため）」、「ダクト業界は今のところ充足しているが、来年は不足すると思われる」、「北海道の職人が山口の岩国の現場に従事するなど全国的に職人相互の調達は可能である。ただ、寒冷地仕様など地域により仕様の違いを考慮する必要がある」などが報告されました。

若手後継者の育成については、「ダクト業界の取り組みとしてマンガ『おしえて ダクト君』の冊子を作成し、ダクトの役割が視覚的に分かるように就職指導の先生、就活の高校生、小中学生を対象に出前講座を行っている」といった報告のほか、「会社説明会を開催したが、1名しか来なかった」という厳しい現状も報告されました。

これに関連して、「サブコンの業務を分かりやすく説明するのは難しい」、「高校2年生を対象にインターンシップを実施している」、「設備を含めた建設業全体を魅力ある職場としてどのようにアピールしていくかが大きな問題」などの意見が出されました。

23回会合には11名が出席。保険未加入問題につ



第22回会合



第23回
会合

いて事務局から国土交通省の『社会保険の加入に関する下請け指導ガイドライン』の改訂版（H28.7.28付概要）について説明が行われたあと、意見・情報を交換し、「以前の国交省の説明会では保険に加入していることが確認できなければ元請企業は現場入場を認めないとの取り扱いをすべきである』との強硬な姿勢がうかがえたが、改訂版では、特段の理由を付与するなどかなり緩和されてきた印象がある」という見方が示されました。

これに関連して、「改訂版の中で『元請企業は特段の理由がない限り現場入場を認めないとの取り扱いをすべきである』とあるが、工事の円滑な施工に支障が生じる懸念がある場合は、特段の理由は適用されないのか」、「工事の円滑な施工に支障が生じる懸念がある場合は、そもそも下請指導ガイドラインの対象外として解釈してもいいのでは」などの意見が出されました。

さらに、「特段の理由の中の②で『未加入の作業員が特殊な技能を有し、その入場を認めなければ工事の施工が困難となる場合』とあるが、そのような作業員の現場入場を一旦認めれば、他の業種からも同様の圧力があり、現場の混乱が予想される。現にそのような現場があったと聞いている」など危惧する意見も出されました。「ゼネコンな

どの元請企業から言いやすいところとして、サブコン（電気、空調衛生）に対して遵守するよう、働きかけがある。ゼネコンにより温度差はあるが強制とか締め付けといったことはない」、「ゼネコンの一部では2017年4月1日から未加入の作業員は現場入場させないという声がある」といったことも報告されました。

現場における諸課題については、「ダクト業界では職人の不足感はない。ただ、若手入職者は不足している」、「保温保冷業界からみると、ゼネコンとサブコンとのコミュニケーション不足により、現場が混乱するケースがある。工程表を作成できる技術者（ゼネコン、サブコン）が少ない」といった見方も示されました。

女性技能者の育成、活用については、「配管工として21歳の女性を採用した。勤務時間を朝9時から午後4時に限定し、女性活用に理解がある大手ゼネコンの現場に入ってもらっている。しかし、他の現場では就労時間がネックである」という意見が出されました。女性技能者を雇用するためには①就労時間の配慮②託児所（子育て環境の確保）③正社員（雇用の安定）——が不可欠であるとの意見が大勢を占めました。

会員・賛助会員の交流会を開催

平成28年9月1日に大阪市西区の「徐園」で会員・賛助会員の交流会を盛大に開催しました。

交流会には47名が参加し、第1部として、賛助会員である㈱LIXILの石原雄太様を講師に「グローバル視点で進化するパブリックトイレ」と題した報告会を行いました。石原様は、パワーポイントを用いて、増加する訪日外国人がパブリックトイレに対してどのようなところに不自由を感じているのか、また、どのようなことを求めているのかなどをわかりやすく解説しました。

第2部として懇親会を催し、北京料理に舌鼓をうちながら、会員と賛助会員が活発に意見・情報交換し、交流の輪を広げました。



挨拶する塩谷理事
(経営委員会委員長)



講演する石原様
(賛助会員)



懇親会で乾杯の音頭をとる
安原理事(経営委員会副委員長)



青年部会活動

研修会を開催

協会青年部会（中山裕章会長）は、昨年9月8日午後2時から4時30分まで、大阪市中央区のエル・おおさかで研修会を開催し、薬物乱用問題や日本赤十字社の防災啓発活動についての講演を聴講しました。

今回の研修は、元近畿厚生局麻薬取締部部長・西山孟夫様と日本赤十字社福祉安全課課長・西田節夫様を講師に招いての講演会となりました。

西山様は「日本における薬物乱用問題」をテーマに講演し、西田様は「赤十字防災啓発プログラム」と題して防災啓発活動を紹介しました。



講演する西山様



講演する西田様



大阪マラソンコースを「クリーンUP」

青年部会は、10月30日に3万2000人以上が参加して開催された大阪マラソン2016に先立ち、同月26日にマラソンコースの「クリーンUP作戦」を実施しました。

参加者17名は、大阪市中央区北浜1丁目交差点付近のマラソンコースを丁寧に清掃奉仕し、国内有数の市民マラソン開催に備えました。



「クリーンUP作戦」参加者



歩道をくまなく清掃奉仕

第43回野球大会

齋久工業(株)大阪支社 念願の優勝

優勝	齋久工業(株)大阪支社	準優勝	ダイダン(株)大阪本社
第3位	若林設備工業(株)	第4位	三建設備工業(株)大阪支店

最優秀選手賞 永田 智哉選手 (齋久工業(株)大阪支社)
敢闘賞 中本 翔太選手 (ダイダン(株)大阪本社)

第43回野球大会は、平成28年10月11日、12日、13日の3日間にわたり、舞洲運動広場で開催されました。20チームでの熱戦が繰り広げられた結果、齋久工業(株)大阪支社が念願の優勝を遂げました。

開会式で古新亮英会長は「会員相互の親睦とリフレッシュとしてケガのないように頑張ってください」と挨拶しました。

新日本空調(株)大阪支店の荒駒慎太郎選手が「楽しく安全にプレーすることを誓います」と選手宣誓をした後、白熱した試合が続きました。13日の閉会式では、城口俊雄副会長より見事優勝した齋久工業(株)大阪支社チームへ優勝旗と表彰状が授与され、続いて準優勝、第3位、第4位のチームへカップなどの授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社・中野隆久取締役関西支社長から優勝・準優勝チームへ盾の授与が行われました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・運営により円滑に進み、無事終了することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。



力強く選手宣誓



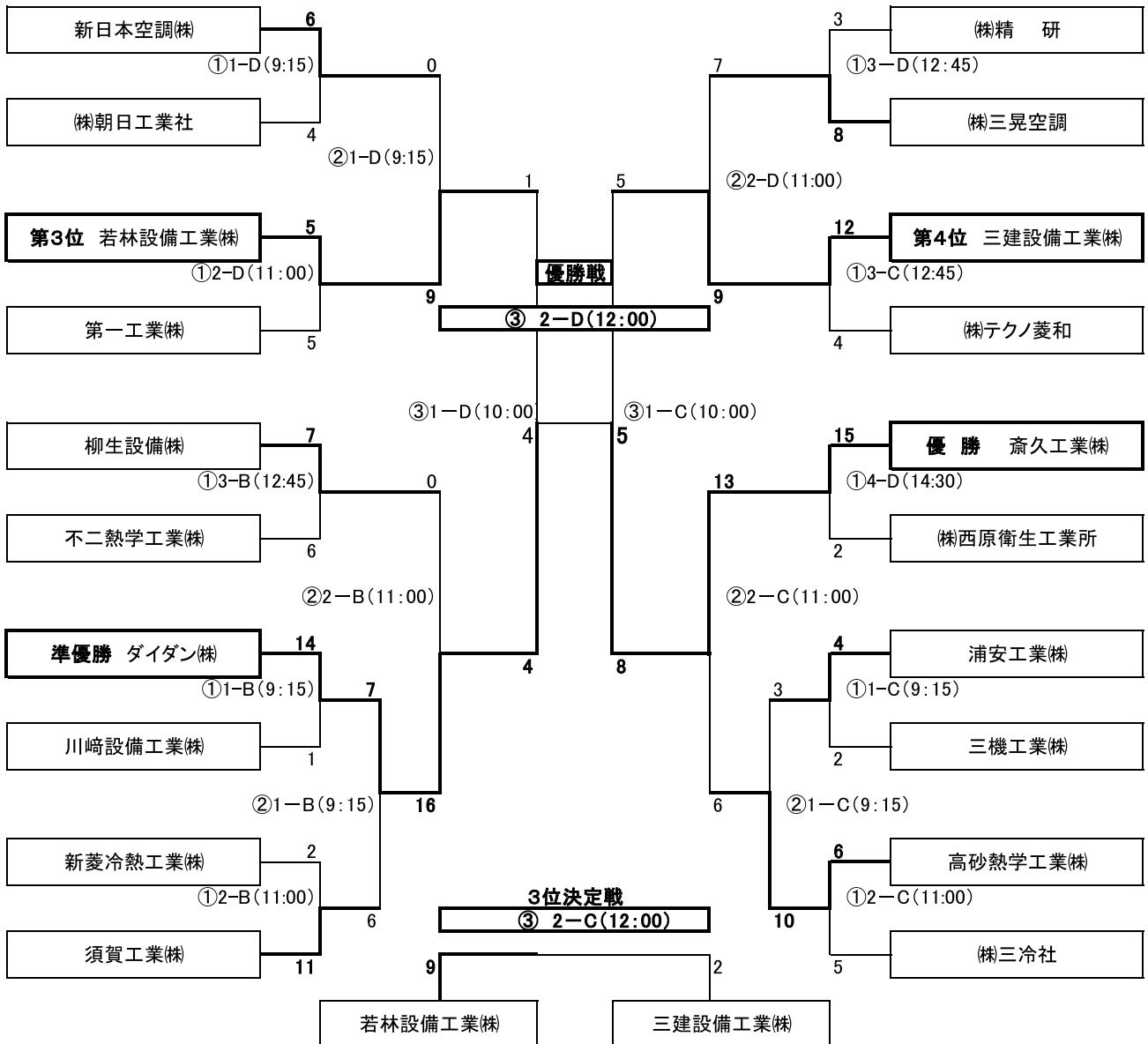
古新会長による始球式





念願の優勝を果たした齋久工業㈱大阪支社チーム

第43回野球大会組合せ表





準優勝のダイダン(株)大阪本社チーム



第3位入賞の若林設備工業(株)チーム



城口副会長(左)からトロフィーを受ける
最優秀選手・永田さん



城口副会長(左)からトロフィーを受ける
敢闘賞・中本さん



観戦記 決勝戦

斎久工業(株) V S ダイダン(株)

斎久工業(株) 山岡 徹也

第43回一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会野球大会の決勝戦は、ダイダンと斎久工業のカードに決定。

ダイダンは決勝までに4戦で41得点、斎久工業は3戦で33得点と強打者対決の様相を呈するカードとなりました。歴史の長い当大会において、両者とも準決勝、決勝に何度も名を連ねる大会常連の古豪2社による決勝となった訳ですが、ダイダンは前々回に優勝、前回は準優勝であったため、優勝旗の奪還を、斎久工業は29年ぶりの優勝をかけての対決となりました。

決勝は激戦を予想させる秋空の中、12時10分にプレイボール。

1回表ダイダンの攻撃は、1番中山選手が四球で出塁し間髪入れず2盗し、3番中本選手のタイムリーで1点を獲得。1-0とし、斎久工業永田投手の4連投の疲れからか制球の乱れを突かれた形となりました。

その後、テンポを取り戻した永田投手、センター小田原選手の好プレーでダイダンの強力打線を1点で抑えた形となりました。ダイダン河合投手の5連投を感じさせない投球で斎久工業打線に塁を踏ませるが、得点に繋げさせない気迫の投球でした。

2回裏も斎久工業の攻撃で、永田選手が死球で塁にでると、7番林選手のレフト前ヒットで2・3塁となったが、その後、ダイダン河合投手の前に得点に繋げるまでに至りませんでした。

2回・3回共に斎久工業永田投手の前にダイダ
ン強力打線も沈黙してしまい、3回裏、斎久工業
の攻撃、2番阿部選手が四球から盗塁を重ね1ア
ウト3塁とすると、4番外野選手のタイムリーで
同点とし1-1、女房役であるキャッチャーが永



優勝旗の授与

田投手の奮闘に応えた形となりました。

4回表も永田投手の気迫の前に、ダイダン打線
も三振、ピッチャーゴロ、三振と三者凡退の結果
に終わりました。ダイダン河合投手も負けていな
く、ランナーを背負うも得点には繋げない野手と
一体になった野球を繰り広げる展開となりました。

試合が動いたのが4回表。ダイダン大久保選手
が四球で出塁すると、すかさず8番三好選手がヒ
ットで1・2塁とし、9番長元選手のレフト前ヒッ
トの間に大久保選手がホームイン、続く1番中山
選手が値千金の2点タイムリー 2ベースでこの回
一挙に3点を重ね4-1とし、3点リードする結
果となりました。なんとか得点を取返したい斎久
工業ですが、ダイダンナインの前に、チャンスを
逃し続け、歯がゆい展開となりました。

6回にはダイダン河合投手から林投手へと継投
し、立ち上りを狙いたい斎久工業でしたが、ダイ
ダンナインの前に塁も踏めず、6回裏の攻撃が終
わりました。

ダイダンの3点リードで迎えた最終回、ここま
で4奪三振と回を増すごとに投球精度とキレが増
していく斎久工業永田投手は最終回でも3者凡退
に抑える素晴らしい投球内容でした。

最終回、3点差でこのままダイダンが逃げ切る
かと思われましたが、1アウトから3番小田原選
手のソロホームランで2点差に詰め寄ると、ヒッ
トと四球で満塁とし、7番林選手がサードゴロで
一塁への送球の間に3塁走者が生還し、誰もが



準優勝カップの授与

2アウトで1点差とっていましたが、ファース
トの捕球に全体の注目が集まった隙をついて、
2塁走者の稲本選手が3塁を回って本塁に突入。

ダイダン側も斎久工業側も思いもがけない展開
に理解するまで時間を要しました。

この稲本選手の好走塁のおかげで、4-4とな
り、延長戦にもつれ込むのでした。

延長8回表、連投を重ね疲労もピークに達して
いた斎久工業永田投手でしたが、この日も代打高
橋選手を三振、3番中本選手をサードゴロ、4番
林選手をファーストフライで抑え三者凡退とする
好投を見せてくれました。

誰も今後の展開を予想できない中、斎久工業ナ
インは諦めず、全員野球を行っていました。野球
では9回裏2アウトからとは言いますが、ここで
ドラマが待っていました。

延長8回裏、9番仲尾選手から始まる打順で、1
番新谷選手がヒットで出塁し、3番小田原選手が
2ベースヒットでランナー 2・3塁とすると、ここ
で斎久工業4番外野選手の打席、今大会当たって
おり、本日も4打数2安打1得点の活躍の主砲を前
に、過去にも名采配が光るダイダン高橋監督が動
きました。

なんとここで敬遠策。次の打者を歩かせばサヨナラ押し出しとなる場面ですが、河合投手の制球力ならこの采配はさすが領けます。

続く5番稲本選手。2アウト満塁の場面、敬遠

後ということもあり、初球から狙うつもりだったと稲本選手。その言葉通り、初球をレフト方向に打ち返しサヨナラタイムリーでこの激闘に幕を下ろしました。

観戦記 3位決定戦

三建設備工業(株) V S 若林設備工業(株)

三機工業(株) 建部 浩文

3位決定戦は先攻・三建設備工業、後攻・若林設備工業で試合開始。先発ピッチャーは三建設備工業・河村(隆)投手、若林設備工業・佐野投手です。

1回の表裏は、両投手共ランナーを出しますがゼロで抑えます。試合は2回に動きます。2回表、三建設備工業の攻撃、荒鎮選手がヒットで出塁。ランナー 2塁とし、河村(聖)選手のタイムリー内野安打で1点先制します。さらに、山口選手のライト前タイムリーヒットで1点追加。この回2点とします。

しかし、若林設備工業もすぐに反撃です。2回裏、ヒット、四球でランナーを出し、満塁のチャンスを作ります。ここでバッターは小笠原選手。河村(隆)投手の渾身の1球を振り抜くと、ボールは外野を大きく越え、なんと満塁ホームラン。4点を返し一気に逆転します！

その後、3回・4回は両投手の好投と、バックの好守備により0点。締まった展開のまま5回の攻防に移ります。

5回表、三建設備工業の攻撃。この回ヒットと死球で1アウト1、2塁とし、一打勝ち越しのチャンスを作ります。この試合最大のピンチを背負った若林設備工業・佐野投手、気合の投球で次のバッターをショートライナーに打ち取り、飛び出し



表彰される第3位・若林設備工業(株)チーム

たランナーもアウトとし、ダブルプレーで切り抜けます。

5回裏、試合の流れは若林設備工業に。2回裏同様、ヒットと四球で再び満塁のチャンスを作ります。ここでバッターは途中出場のチームの精神的支柱・山本選手です。チームの期待を一身に背負い打席に立ちます。

河村(隆)投手に投球にファウルで粘ります。そして遂にジャストミート！ボールは外野の間を抜けていき、この試合2本目の満塁ホームラン！4点を追加します。さらにこの勢いそのまま連打を続けさらに1点を追加。5回裏、若林設備工業は5点をあげ、ここで大会規定により5回7点差ワールド勝ちとなりました。

両チームの選手のみなさん、お疲れ様でした。当野球大会に連続出場され、この度初入賞となりました若林設備工業の選手のみなさん、チーム一丸となった歴史的勝利、本当におめでとうございます！

平成28年度大空会ゴルフ大会開催 藪本氏が優勝

平成28年11月22日（金）に、奈良県の飛鳥カンツリー倶楽部で48名が参加して恒例の第12回大空会ゴルフ大会が開催されました。

競技結果は次のとおりです。



古新会長による始球式

§ 競技結果 §（敬称略）

- ◇優勝 藪本 繁明（大熱工業株）
- ◇準優勝 井置 公平（第一設備工業株大阪支店）
- ◇第3位 吉田 和彦（三菱電機冷熱機器販売株関西支社）
- ◇ベストグロ賞 藪本 繁明（大熱工業株）



古新会長（左）から藪本様へ優勝カップ



準優勝の井置様（左）



第3位の吉田様（左）

平成28年度ボウリング大会

団体戦 (株)精研チームが獲得

当協会恒例の福利厚生事業・ボウリング大会が平成28年11月16日(水)に桜橋ボウルで開催されました。今回は18チームでの戦い(2ゲーム)となり、団体戦(チームは1社3名男女不問で結成、女子は1ゲームにつき30点のボーナス点加算)は、(株)精研が見事優勝しました。個人戦(女子ボーナス点加算)では、山本勝也様(若林設備工業株)が優勝しました。



優勝・(株)精研チーム



準優勝・不二熱学工業(株)チーム

§ 試合結果 § (敬称略)

◇団体戦

優勝	(株)精研	1010ピン
準優勝	不二熱学工業株	953ピン
第3位	新日本空調(株)大阪支店	933ピン



第3位・新日本空調(株)大阪支店チーム

◇個人戦

優勝	山本 勝也 (若林設備工業株)	389ピン
準優勝	福園 亮佑 (株)西原衛生工業所大阪本店	378ピン
第3位	岡本 茂 (株)精研	369ピン

◇ハイゲーム賞

男性	福園 亮佑 (株)西原衛生工業所大阪本店	224ピン
女性	成宮 朋子 (新日本空調(株)大阪支店)	167ピン



個人優勝・山本様



個人準優勝・福園様



個人第3位・岡本様

告知板

○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは変化・拡大しております。特に「環境問題」という新たな分野への取り組みは当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員にご入会されますと、当協会において技術開発、製品開発の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額 4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入（4,000円×3月までの月数）。

以後は年額（48,000円）を上半期と下半期に分け、上半期は6月末、下半期は12月末に納入。

入会手続 協会事務局までご連絡ください。入会申込書を送付いたします。

○今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
2月14日(火)	(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会	シティプラザ大阪
4月4日(火) 5日(水)	新入社員研修	電設健保センター
5月16日(火)	当協会第43回定時総会	リーガロイヤルホテル大阪
8月19日(土)	第9回配管技能コンテスト	大阪府立東大阪高等職業技術専門校

「足場の特別講習」期限あと約5カ月

足場に関する墜落防止措置などを定める厚生労働省の労働安全衛生規則の改正（2014年7月1日施行）による経過措置期間（今年6月30日）がせまり、同省などでは特別教育を早急に行うよう求めている。

建設現場などで広く使用される足場からの墜落・転落による労働災害が多く発生していることを踏まえ、足場の安全な使用を推進するための措置で、足場の組立、解体、変更に関わる作業者が特別教育を受講することを義務づけており、経過措置期間までに特別教育を行う必要がある。ここでいう「足場」には移動式足場（ローリングタワー）も含まれており、高さも関係ないことから建設業界に幅広く関連する。

労働安全衛生規則の改正では①足場の組立などの作業の墜落防止措置の充実（足場材の緊結などの作業を行うときは幅40センチ以上の作業床を設置すること。安全帯取付設備を設置し労働者に安全帯を使用させること）②足場の組立などの作業に特別教育が必要③足場の組立などの後は注文者も点検が必要④足場の作業床に関する墜落防止措置の充実（床材と建地との隙間は12センチ未満とすること。作業の必要上、足場や架設通路、作業構台から臨時に手すりなどを取り外す場合は関係労働者以外の立入を禁止し、作業終了後は直ちに元に戻すこと）⑤鋼管足場（単管足場）に関する規定の見直し——が盛り込まれている。

特別教育については、足場の組立、解体または変更の作業のための業務（地上または堅固な床上での補助作業の業務を除く）に労働者を就かせるときは特別教育が必要とされ、その内容は①足場及び作業の方法に関する知識（3時間）②工事用設

備、機械、器具、作業環境等に関する知識（30分）③労働災害の防止に関する知識（1時間30分）④関係法令（1時間）の計6時間。なお、既に業務に従事している者については時間を半分に短縮できる。

また、特別教育の科目の全部または一部について十分な知識や経験があると認められる労働者（足場の組立等作業主任者技能講習修了者、足場の組立等作業主任者技能講習規程〈昭和47年労働省告示第109号〉第1条各号に該当する者、とびの1級または2級の技能検定合格者、とび科の職業訓練指導員免許を有する者）については、この科目についての特別教育を省略することができる。

この特別教育は、一般財団法人中小建設業特別教育協会が全国各地で随時開催している。

近畿圏のマンション微増予測

不動産経済研究所まとめによる17年（暦年）の近畿圏のマンション供給は、前年比2.2%増の1万9000戸とまずまずの水準を予測した。いぜん続く価格上昇の影響により小幅な増加にとどまるとしている。

大阪市部は6.8%減の8000戸、大阪府下は18.8%増の3800戸を予測し、兵庫県下（9.5%減の1900戸）と京都市部（12.4%減の1200戸）は伸び悩むとみている。このほか、神戸市部（22.2%増の2200戸）、京都府下（22.4%増の600戸）、奈良県（17.0%増の550戸）、滋賀県（14.3%増の400戸）、和歌山県（45.8%増の350戸）もそれぞれ増加を予測している。

在庫は昨年11月末で2560戸と徐々に積み上がりつつあるが、まだ低い水準だという。昨年1～11月の1戸当たり平均価格は3872万円、93年（3879万円）以来の高水準で強含みが続いている。



なお、首都圏の民間分譲マンション供給は、前年比6.4%増の3万8000戸、4年ぶりに増加すると予測した。東京都区部が5.1%増の1万6500戸と堅調な増加を予測しているほか、千葉県（14.3%増の4500戸）と埼玉県（12.5%増の4500戸）は2ケタ増を予測している。

17年度建設受注 減少見通し

建設経済研究所は、2017年度の建設投資額を16年度（見通し）比1.4%減少するという予測を出している。16年度の微増（1.9%増）から減少に転ずる。

民間建設投資は住宅が0.2%減、非住宅が横ばいとどまるものの、政府建設投資が3.0%減少し、全体で前年度比1.4%減の51兆2000億円と予測している。「政府投資」は21兆3000億円と予測。「民間住宅投資」は14兆8200億円を予測。住宅は貸家の着工戸数が次第に減少に向かい、分譲マンションも価格高止まりの状況に大きな変化は見込まれないとして住宅着工戸数は1.8%減の92万4300戸を見通している。

「民間非住宅投資」は15兆800億円と予測。うち「建築」投資は0.4%減、「土木」投資は0.8%増とみている。「事務所」は、今後も堅調に推移す

ると見込まれるとしているほか、「店舗」も長く続いた停滞に一定の歯止めが掛かる兆候がうかがえ、着工床面積は回復するとみられるとしている。「工場」は老朽化設備の更新、生産性合理化、低金利などプラス要因を背景に着工床面積は堅調に推移するとみられるとしている。

国交省下請取引実態調査

国土交通省がこのほど公表した2016年度「下請取引実態調査」によると、建設工事を下請負人に発注したことのある建設業者（9778者）のうち、建設業法に基づく指導を行う必要のない建設業者（適正回答業者）は387業者（4.0%）で、15年度の前回調査（3.1%）からやや増加した。調査は全国建設業者の約1万2000の有効回答を得てまとめた。調査時期は昨年7～9月。

調査結果では、元請負人から「不当なしわ寄せを受けたことがある」と回答した業者は11.1%と、一昨年7～9月の前回調査（11.7%）から0.6%低下、4年連続減少した。「不当なしわ寄せ」のうち最も多かったのは前回と同じ「下請契約の締結が工事着手後」（28%）であった。一方、発注者（施主）から「不当なしわ寄せを受けたことがある」と回答した業者は3.6%で、前回調査（5.0%）から1.4%低下し、2年連続して減少した。「不当なしわ寄せ」のうち最も多かったのは「発注者の設計図面不備・不明確・設計積算ミス」（18.3%）であった。

国交省などが取り組んでいる建設業の社会保険加入促進問題に関する調査では、雇用保険の加入者は96.9%（前回96.2%）、健康保険で96.5%（同95.0%）、年金保険で98.2%（同97.5%）となり、3保険すべてで前回調査より加入状況が改善した。

平成 29 年度

初 級 技 術 者 の た め の 基 礎 知 識 研 修 会 受 講 ガ イ ド

主 催 公益社団法人 空気調和・衛生工学会近畿支部

協 賛 一般社団法人 建築設備技術者協会近畿支部

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

一般社団法人 電気設備学会関西支部〈予定〉

開 催 日 平成29年5月8日（月）～ 5月12日（金）

場 所 エル・おおさか（大阪府立労働センター）5階 視聴覚室

大阪府中央区北浜東3-14（TEL:06-6942-0001）

定 員 180名（申込み順で、定員になり次第締め切ります）

受 講 料 1) 全講座・受講（会員）30,000 円（非会員）40,000 円

2) 空調・受講／給排水・受講（会員）20,000 円（非会員）25,000 円

※当協会より受講申し込みの場合は会員価格となります。

いずれもテキスト代を含みます。なお、テキストは受講を前提にしてお渡ししていますので、テキストのみの販売は行っていません。

テキスト パート毎に担当講師作成の資料を受講者に当日お渡しします。

受講内容には計算を伴う演習がありますので電卓を用意してください。

申込締切 平成29年4月21日（金）

申込方法 下記の事務局までメールにてお申し込みください。

受講料のお支払いは銀行振込でお願いします。銀行振込先は次の通りです。

振込手数料は、申込者にてご負担下さい。

振込先：三井住友銀行 備後町支店 普通預金0111689

公益社団法人 空気調和・衛生工学会

振り込み確認後、受講票及び会場案内を郵送でお送りいたします。

受講料は払戻しいたしませんので、当日参加できない場合は代理参加も可能です。

詳細は、下記の工業協会事務局まで お問い合わせください。

申 込 先 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

〒541-0052 大阪府中央区安土町1-7-20

新ヤマトビル3階

電話 06-6271-0175 FAX 06-6271-0177

Email : inoue-a@tenor.ocn.ne.jp

基礎知識研修会カリキュラム

区 分	日 程	時 間	題 目
共 通	5月8日(月)	9:30～11:00	建築設備の知識
		11:10～12:30	電気の知識
		13:30～15:30	設備図面の知識
		15:40～17:40	施工と安全管理
給排水	5月9日(火)	9:30～12:30	給水・給湯設備
		13:30～15:30	衛生器具設備
		15:40～17:40	消火設備
	5月10日(水)	9:30～12:30	排水・通気設備
		13:30～15:30	排水処理設備
		15:40～17:40	配管と材料
空 調	5月11日(木)	9:30～11:00	室内環境
		11:10～12:30	空調負荷
		13:30～15:00	
		15:10～18:00	空調・換気設備
	5月12日(金)	9:30～12:30	湿り空気線図
		13:30～16:00	熱源設備
16:10～17:40		排煙設備	

受講の組合せは下記の通りとなっています。各コースから一つを選んで下さい。

受講コース名称	共 通 (5月8日)	給排水 (5月9・10日)	空 調 (5月11・12日)
全 講 座	○	○	○
給 排 水	○	○	×
空 調	○	×	○

2017年

迎

春



一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (82社)

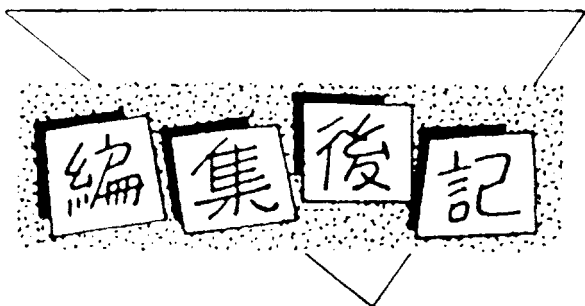
会社名	代表者氏名	会社名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	上田 訓司	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)朝日工業社大阪支社	中尾 弘昭	島設備工業(株)	井上 暎夫
(株)上杉工業	上杉 陽子	主計管工(株)	中井 主蔵
浦安工業(株)大阪支店	八里 増樹	城陽ダイキン空調(株)	澄川 秀幸
(株)江坂設備工業	中村 昭一	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
エルゴテック(株)西日本支店	横山 順二	新日本空調(株)大阪支店	伊藤 雅基
オーディーエー(株)	織田 守彦	新菱冷熱工業(株)大阪支社	佐々木賢治
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	須賀工業(株)大阪支社	森内 啓治
鳳工業(株)	齊藤 久克	(株)精研	上野 俊信
奥田商工(株)	奥田 孝子	第一工業(株)大阪支店	高木 信幸
影近設備工業(株)大阪支店	東野 大輔	第一設備工業(株)大阪支店	祝出 富弥
川崎設備工業(株)西部支社	番 清彦	大貴設備(株)	田窪大五郎
川惣電機工業(株)	昆沙賀正道	(株)ダイキンアプライドシステムズ大阪支店	黒川淳一郎
川本工業(株)大阪支店	柴尾慎一郎	ダイクウ(株)	中村 淳一
木村工業(株)	木村 之彦	大晃設備(株)	樋上 雅一
協伸工業(株)	森岡 晟	大成温調(株)大阪支店	今井 康之
(株)共進社工業所	山内 昇平	大成設備(株)近畿支店	木本 一義
享和設備(株)	竹本 和正	ダイダン(株)大阪本社	古新 亮英
クウケン(株)	植野 教夫	大熱工業(株)	藪本 繁明
九櫻設備工業(株)	高安惣二郎	(株)大和商會	玉置 哲也
(株)クドウエンジニアリング	田浦 明敏	高砂熱学工業(株)大阪支店	植野 壮二
五建工業(株)大阪支店	安田 実	(株)タカネツ	高木 徳康
斎久工業(株)大阪支社	浅井 克巳	田丸産業(株)	堀田 高志
財馬冷熱工業(株)	財馬 利幸	(株)テクノ菱和大阪支店	星野 宏一
三機工業(株)関西支社	白木 博之	東洋工業(株)	谷本賢太郎
三建設備工業(株)大阪支店	田辺 宣孝	東洋熱工業(株)大阪支店	平田 順一
(株)三晃空調大阪本店	文田 秀夫	西川設備工業(株)	関田 一也
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	(株)錦	三分一 誠
三宝電機(株)	井上 清人	(株)西原衛生工業所大阪本店	澤田 憲治
(株)三冷社西日本支社	生島 清好	日建設備工業(株)	三井 正雄
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	(株)日設関西支店	前田 暁
敷島煖房工業(株)	松本 光庸	日本管工業(株)大阪営業所	小野 直人

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本ファシリオ(株)大阪本店	杉本 卓	(株) 北 祥	澤村 幸雄
日本メックス(株)関西支店	上野 晴夫	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
(株) 伯 太 工 業 所	藤井 康彰	(株) マ サ キ 設 備	正木 康晴
(有) 原 設 備	原 良一	丸 住 (株)	吉田 博子
日比谷総合設備(株)関西支店	下田 敬介	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	(株) 柳 澤 設 備	柳澤 満弘
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 徹	山 田 工 業 (株)	中道 保信
富士古河E&C(株)西日本支社	高谷 政美	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 尚史

賛 助 会 員

(66社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	加藤 淳一	(株) 大 和	向井 勉
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	沢田 貴史	高 井 水 栓 (株)	高井 徹
アルファ・ラバル(株)大阪支社	池田 篤史	タ カ ラ 通 商 (株)	川西 雅裕
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) 多 久 製 作 所 大 阪 支 店	田中 耕二
イシグロ(株)関西ブロック	浅利 政史	(株) タ ブ チ 大 阪 特 販 本 部	小西 伸二
因幡電機産業(株)電設西日本事業部	田代 浩明	テ ラ ル (株) 大 阪 支 店	若林 聡
井 下 機 器 (株) 大 阪 支 店	川口 達也	(株) 電 巧 社 大 阪 支 店	梅田 正幸
英 和 商 工 (株)	尾名 亮三	東 西 化 学 産 業 (株) 本 社	河野眞一郎
荏 原 実 業 (株) 大 阪 支 社	蛭田 功	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	小山 馨
(株) 荏 原 製 作 所 西 大 阪 支 店	管野 善幸	T O T O (株) 特 販 本 部	小山田誠太郎
(株) オ ー ケ ー エ ム 大 阪 支 店	岡崎 洋	T O T O 関 西 販 売 (株)	山田 悌男
オ ー ケ ー 器 材 (株)	山田 進一	東 洋 バ ル ヴ (株) 大 阪 営 業 所	小吹 雅則
(株) 大 岩 マ シ ナ リ ー 関 西 支 社	岸田 明彦	(株) ニ シ テ ッ ク ビ ル シ ス テ ム 事 業 部	藪川 洋一
(株) カ ナ デ ン 関 西 支 社	恒川 幸夫	ニ ッ ケ イ (株) 大 阪 営 業 所	田中 広
川重冷熱工業(株)西日本支社	島田 洋一	日 製 電 機 (株) 大 阪 支 社	桂井 善章
(株) 川 南 フ ァ シ リ テ ィ ズ	小南 長門	ニ ッ タ (株) ク リ ー ン エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業 部	黒川 泰雄
(株) 川 本 製 作 所 大 阪 支 店	松尾 吉実	日 本 電 技 (株) 大 阪 支 店	大友 春久
北九州空調(株)大阪営業所	渡邊 定男	日 本 水 処 理 工 業 (株)	川西 昌史
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	(株) 日 阪 製 作 所	宇佐美俊哉
協立エアテック(株)大阪支店	宮田 篤史	日 比 谷 通 商 (株) 関 西 支 店	井出 豊
空 研 工 業 (株) 大 阪 支 店	塚本 法宏	(株) 扶 洋	横田 好明
(株) 古 島 大 阪 支 店	藤井 良夫	(株) ベ ル テ ク ノ 大 阪 支 店	松尾 英樹
(株) コ ス タ コ ー ポ レ ー シ ョ ン	逸見 克孝	北 勢 工 業 (株)	北山 秀晴
三和鋼管(株)大阪営業所	藤井 洋央	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 (株) 関 西 支 社	吉田 和彦
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	吉田 勝彦	森 松 工 業 (株) 大 阪 支 店	堤 由 幸
新 晃 工 業 (株) 大 阪 支 社	道端 徳昭	(株) 大 和 バ ル ブ 大 阪 支 店	湯浅 雅宏
(株) 振 興 社 設 営	楠 幸隆	ヤ マ ト ヨ 産 業 (株)	豊嶋 貴嗣
新 日 本 美 風 (株)	荒牧 太郎	ヤ ン マ ー エ ネ ル ギ ー シ ス テ ム (株) 大 阪 支 社	中村 哲也
シンワ工業(株)大阪営業所	塩月 亨	ユ ア サ 商 事 (株) 関 西 支 社	岡部 文雄
住友商事マシネックス(株)大阪オフィス	才本 幸治	(株) ユ ニ ッ ク ス 大 阪 営 業 所	川口 寛
ゼ ン シ ン (株)	吉田 晃	(株) L I X I L 関 西 支 社 ビ ル 関 西 支 店	相羽 清志
タイヨージョイント(株)大阪営業所	池田 信一	菱 電 商 事 (株) 関 西 支 社	吉田 智昭
(株) ダイキアクシス関西営業本部	高岡 慎也	リ ン ナ イ (株) 関 西 支 社 大 阪 支 店	児玉 宅央



編集後記

昨年を振り返りますと、4月の熊本地震に始まり、鳥取県中部地震等、各地で地震が発生し、11月には東日本大震災の余震とみられる地震により、再び津波が押し寄せるなど、自然災害に対して日頃からの備えの重要性を改めて感じさせられる1年でありました。

また、世界を見渡しますと、去年は、インドネシア、エクアドル、イタリア中部、チリ南部等で大地震が発生し、多くの人々の自宅が倒壊し、生活の基盤を一瞬にして奪われるなどの惨状を目の当たりにしますと、国を超えての総合的な対策の必要性を痛感する日々です。

さて、当協会の今年の活動を振り返ってみますと、まず、毎年8月に行われる配管技能コンテストが挙げられます。昨年で8回目の実施となります。

今回のコンテストでは、一般の部（1級配管技能士レベル）の優勝者は、第1回目から今回まで8回連続出場し、今回、見事初優勝を勝ち取ったという方です。大変、おめでとうございます。

また、学生の部（3級配管技能士レベル）においては、優勝と第3位を並み居る男子生徒を退けて、滋賀県立彦根工業高等学校3年生の女子生徒が占めました。彼女達は、感想文で次のように書いています。

「効率よく作業をするためには、作業の合間に掃除、整頓をこまめに行うことが大切だと感じました」と。

当日の彼女たちの作業において、まさにそれを実践した結果、高評価の作品を作り出したのではないかと実感しました。今回の経験を活かし、未来に大きく飛躍されんことを念願しています。

大阪府立布施工科高等学校は、惜しくも優勝は

逃しましたが、10月に山形で開催された第54回技能五輪全国大会に3年生の男子生徒が出場しました。4年連続の出場に対しまして、先生方の並々ならぬご尽力・ご苦勞に心より感謝申し上げます。

もう一点挙げますと、10月20日に神戸で開催された日空衛第23回全国会議におきまして、印象に残ったのは、「設備女子会のこれまでと今後」と題する講演の中で、「男女ともにワークライフバランスを実現する働き方をすべき」、「女性が働き続けやすいということは、すべての人が働きやすいということ」という発言でした。

建設業界は、熟練技能者の高齢化、若手入職者の減少という深刻な状況が続いております。また、人材確保のためにも、女性入職者の増加をいかに図っていくかが、大きな課題となっております。

先程の発言を踏まえますと、女性が働き続けやすい職場環境を創出することが、ひいては高齢者、若手を含めすべての人が働きやすい社会の構築につながっていくのではないかと思いますこの頃です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(S.H)

大空衛 第80号

平成29年1月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会
〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号
新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 新阪神印刷株式会社

